

教育施策大綱の「三重の教育における基本方針」について（素案）

1 中心的な理念

《留意点》

- 県全体の教育施策は、学校教育よりもさらに時間軸の広がり大きいものであり、人の一生を連続性の中でとらえた一貫したものとすべきである。（国の教育振興基本計画における「縦の接続」につながる視点）
- みえ県民力ビジョンにおける「県民力による協創の三重づくり」の基本理念は、教育施策においても最も重要となる方向性であり、県民総ぐるみで教育に向き合う姿勢を決意として示す必要がある。（国の教育振興基本計画における「横の連携・協働」につながる視点）

このことを踏まえ、以下の4項目を中心的な理念として盛り込むことを検討したい。（具体的な文言は今後案を提示します。）

（1）「三重で学ぶ人に育みたい力」に関する項目

子どもたちの未来や可能性を信じる県の姿勢や、三重で学ぶ人に育みたい力（例：自立する力、共生する力など）を盛り込む。

（2）「安全安心な学習環境の提供」に関する項目

子どもの貧困対策や安全安心な学校づくり等、経済的・社会的な事情にかかわらず必要な学習環境を提供していく方針を盛り込む。

（3）「生涯学習社会の実現」に関する項目

「縦の接続」全体を貫く方針であり、誰もが生涯を通じて学び続ける社会の実現に向けた、社会教育、生涯学習の方針を盛り込む。

（4）「県民総ぐるみで教育に取り組む姿勢」に関する項目

公立学校のみならず私学、さらには、保護者、地域住民、企業など社会の構成員全てを教育の当事者ととらえる、「県民力による協創の三重づくり」を教育に落とし込んだ方針として盛り込む。

2 追加検討項目

上記の4項目のほか、時代の課題を踏まえた方針として、以下の項目の追加も検討してはどうか。

(5) 「三重ならではの教育」に関する項目

「地方創生」元年に策定する教育施策大綱に重要な視点である。三重が持つ多様な地域力を活かした教育に取り組む方針を盛り込む。「グローバル人材の育成」にもつながる。

(6) 「時代のニーズを踏まえた人づくり」に関する項目

高度情報化、グローバル化など時代のニーズを踏まえた教育や、現代的・社会的課題に対応するための「担い手づくり」等を意識した方針を盛り込む。